

第21号

令和2年3月30日発行 宮城県東部土木事務所 登米地域事務所

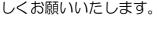
-般国道346号 『錦織バイパス』 が開通しました

令和2年3月7日(土)に,一般国道346号「錦織バイパス」約2kmが開通しました。 開通を迎えるにあたりましては、地域の皆様を始め、用地を提供頂いた皆様や建設に関わ りました多くの関係者の方々のご理解とご協力を頂いたことに心から御礼申し上げます。

錦織バイパスは、一般国道346号のうち登米市東和町錦織地区の市街地において道路幅 員が狭小で急カーブ等の屈曲箇所が多く、大型車同士のすれ違いが困難で事故も多かったこ とから,平成18年度より調査設計を開始しました。用地買収は総面積約6ヘクタール,9 9名の地権者様のご協力を頂き、平成21年より本格的に工事に着手し、令和2年3月に完 了しました。

錦織バイパス開通により通過交通の転換と歩行空間の安全が確保され、住民生活の向上が 図られるとともに、災害時の緊急輸送路としての役割を果たすことができます。

今後は、地域の皆様のご協力を頂きながら適切な道路管理に努めてまいりますので、よろ





■事業概要

計画延長: L≒2, 000m 幅 員: W=6. 5m (10. 5) m

道路規格: 3種2級 設計速度 : 60 km/h

事業期間 : 平成18年度から令和元年度

総事業費 : 約22億円



①起点部

平成18年 道路設計着手 平成19年 測量説明会 平成20年 用地説明会 平成20年 用地買収着手 平成21年 工事着手 平成30年 用地買収完了



②中間部

■「錦織バイパス開通の感謝を伝える会」を開催しました

令和2年3月7日(土)に、バイパス開通を記念して「開通の感謝を伝える会」を開 催しました。当初は各種開通イベントを予定していましたが、新型コロナウイルス感染 症の感染拡大防止を受けて、規模を縮小し感謝を伝える会として開催しました。

当日は開通のお祝いとして、登米市長様、地元県議会議員の皆様などからご祝辞を頂きました。テープカット後は、登米警察署のパトカーの先導により、錦織バイパス約2kmの走り初めを行いました。感謝を伝える会終了後、午後3時に一般交通解放し、 さっそく多くの通行がありバイパス道路の効果が発揮されました。

■開催状況



テープカット



登米市長 熊谷盛廣 さま



宮城県議会議員 渡辺忠悦 さま



祝辞 宮城県議会議員 伊藤吉浩 さま

■走り初め

挨拶

登米地域事務所長

菊地潤



■一般交通解放







平成31年度(令和元年度) 登米地域事務所1年の歩み

新しい時代のスタートとなり、そして「宮城県震災復興計画」発展期の2年目となる令和 元年度は、登米地域における社会資本の整備を推進してまいりました。

道路整備においては、登米地域の今後の発展を支える「みやぎ県北高速幹線道路事業」を 進捗させるとともに、地域の安全・安心を確保するため橋梁耐震化事業や交通安全施設整備 事業を推進しました。総合防災力の強化として進めている河川関係事業においては、長沼川 等において河川改修事業を進捗させるとともに、国土強靭化対策として迫川等の支障木伐採 や堆積土砂撤去を集中的に行い、治水安全度の向上を図りました。

10月には県内を台風19号が通過し、登米管内でも大きな被害を受けたことから、早期の復旧に向け令和元年内に国の災害査定を完了させ、大部分の復旧工事の発注を行いました。

震災復興期間の最終年度となる令和2年度も、復旧・復興事業や社会資本整備の推進及び適切な施設管理に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

5月

7 日 ● 河川・ダム管理施設操作研修会

出水期を迎えるにあたり、事務所全職員を対象として、長沼ダムや荒川等の河川・ダム管理施設の操作研修を実施しました。 当事務所では、水門や排水機場など多岐にわたる施設を管理していることから、洪水時に迅速かつ確実に施設の操作ができるよう確認を行いました。



研修会の様子(荒川・十五丁排水機場)

6月

12 日 6.1 2 防災訓練

毎年,「宮城県民防災の日(6月12日)」に合わせて,防災訓練を実施しています。

今回の訓練では、東日本大震災規模の地震が発生したことを想定し、主に初動対応や被災情報伝達などに関する実践的な訓練を行い、大規模災害発生時の行動を確認しました。



訓練の様子

18 日 🕒 土砂災害危険箇所パトロール

国土交通省及び県等では、6月を「土砂 災害防止月間」と定めています。この時期 に合わせて、登米市と砂防ボランティアの 協力をいただき、管内の土砂災害危険箇所 のうち12箇所についてパトロールを行い、 危険箇所の点検と付近住民の皆様への土砂 災害防止啓発活動を行いました。



パトロールの様子

7月

8日 「登米塾」職員現場研修会

事務所職員の技術力・行政対応力の強化 や事業の理解と説明能力の向上を図ること 等を目的に、職場内研修「登米塾現場研修 会」を行いました。道路、橋梁、河川等 様々な工事現場で、延べ4回(7現場)開催 し、担当職員の説明に対し幅広く意見を出 し合うなど事業への理解を深めました。



研修会の様子(丸森災害防除工事現場)

7月

31日 - 9夏休み!親子現場見学会 in2019 Summer

県と宮城県建設業協会との共催により, 小学生と保護者を対象とした「親子現場見 学会」を開催しました。

登米地域では「みやぎ県北高速幹線道路 (佐沼工区)」を会場として、重機の試乗 や測量,区画線引き,鉄筋の組み立てなどを体 験していただき、建設業に関心を持ってい ただくことや「ものづくり」の大切さを実 感いただきました。暑い中でしたが、当日 は25組58名の皆様に参加をいただきまし た。







区画線引き体験の様子

重機試乗体験の様子

8月

8日 0ードクリーンキャンペーン

毎年8月は国土交通省が「道路ふれあい月間」と定め、また、8月10日は「道の日」と制定されています。この時期に合わせ、事務所職員18名により、国道346号「道の駅・米山」前と(主)古川佐沼線「道の駅・みなみかた」前の道路の除草や清掃を行いました。



活動の様子(道の駅「みなみかた」前)

9月

22日 <u>9 迫川フェスティバル'19</u>

第30回長沼レガッタ大会にあわせ、レガッタ会場の長沼フートピア公園にて「追川フェスティバル'19」を開催しました。長沼ダムの役割や効果、追川改修事業の歴史等を紹介するパネル展示やクイズ大会等を行い、子供たちから親御様まで、長沼ダムへの関心を深めていただきました。



10月

12 日~ ● 台風19号による被災箇所の応急復旧

10月12日から13日にかけて本県を通過した台風19号により、登米管内でも記録的大雨となり、管内の県管理道路で12路線14箇所で通行規制を行ったほか、県管理道路10箇所、河川等55箇所の被害を受けました。堤防が決壊した石貝川など緊急を要する箇所は、被災後直ちに応急復旧を行いました。



石貝川(津山町柳津)の応急復旧状況

25 日 0 スマイルサポーター表彰式

スマイルサポーターとして、登米管内の 県管理道路や河川の美化活動を積極的に継 続し、長年にわたりご尽力いただいた4団体 に対して、知事感謝状を贈呈いたしまし た。登米管内のスマイルサポーターについ ては、現在、令和元年度新たに2団体を認 定し、道路53、河川23の計76団体個人 に活動いただいております。



事務所長から知事感謝状を贈呈

11月

12 日~ - 台風19号による被災箇所の災害査定

台風19号で被災を受けた県管理道路や河川等の本格復旧を行うため,11月12日から国の災害査定を受けました。

当事務所では、11月の第一次災害査定及び12月の第二次、第四次災害査定により、全ての箇所の査定を完了することができました。



第4次災害査定(机上査定)の様子

13 日 <u>● 河川クリーンキャンペーン</u>

河川への不法投棄を防止し河川愛護を推進するため、毎年、建設業協会登米支部と河川の一斉清掃活動を行っており、令和元年度で41回目の開催となります。

当日は建設業者18社103人,事務所9人の 総勢112人により迫川と旧迫川の清掃を行い計990kgのごみ等を回収しました。



当事務所職員によるごみ回収の成果

12月

5 日 ● みやぎ県北高速幹線道路「紫雲山大橋」「田ノ尻橋」橋名板への児童による揮毫

みやぎ県北高速幹線道路事業(佐沼工区)において、迫川を渡河する紫雲山大橋と田ノ尻橋の橋梁上部工工事が完成しました。完成にあたり、地元小学校児童の皆さんに橋名板の文字を書いていただいたため、感謝状を贈呈しました。





佐沼小児童の皆さん(左)と北方小児童の皆さん(右)

1月

17 日 ● 南沢川流域の減災対策協議会幹事会

台風19号により大きな被害を受けた南沢川流域の今後の防災・減災の取り組みについて、国・県・市で構成されている「北上川下流等大規模氾濫時の減災対策協議会[南沢川流域]」で検討されることとなりました。第1回幹事会が登米合同庁舎にて開催されました。



幹事会の様子

28 日 「土砂災害防止法」基礎調査結果説明会(第4回)

県では、土砂災害のおそれがある区域の周知等を目的に「土砂災害防止法」に基づき土砂災害警戒区域等の指定を進めています。指定にあたっては地形・地質等の基礎調査を行い、地元の皆様へ結果説明会を開催しています。令和元年度は米川、米谷、横山地区等で8月より4回開催しました。



東和町米川地区(第3回)での説明会の様子

3月

7日 <u>9 国道346号「錦織バイパス」開通</u>

平成18年度より事業を行ってきた国道346号「錦織バイパス」延長約2kmが開通しました。開通当日は「開通の感謝を伝える会」を開催し関係者による開通行事が行われました。バイパスの開通により、屈曲箇所が多い現道からバイパスへの交通転換や安全な歩行空間の確保が図られます。



バイパスの完成状況(起点側(錦桜橋側)より撮影)

平成31年度(令和元年度)の事業の成果を紹介します

■道路関係事業の成果

主要地方道築館登米線では,歩行空間の確保および円滑な道路交通を確保するため改良 工事を実施しました。今年度は、登米市登米町寺池地区の歩道設置・現道拡幅を行い供用 を開始しました。







登米市登米町寺池三日町地内(令和2年1月完成)

主要地方道古川佐沼線では,歩行者の安全確保のため、歩道設置工事を実施しました。 今年度は、登米市南方町後屋敷待井地区の歩道設置を行い、沿線住民の通行利便性、安全 性を確保しました。



(主) 古川佐沼線 板倉歩道設置工事



登米市南方町後屋敷待井地内(令和2年3月完成)

一般県道志津川登米線「下羽沢災害防除工事」では、道路法面における落石や崩壊の恐 れのある箇所について、法面の安定確保と落石対策を実施しました。今後も災害防除事業 を順次進めていきます。



(一) 志津川登米線 下羽沢災害防除工事





登米市登米町大字日根牛地内(令和元年12月完成)

一般国道346号外「米川外舗装補修工事」では、舗装が悪い区間を補修し、走行車両の安全確保と段差音の解消などを図りました。今後も順次、管内道路の舗装補修を行っ ていきますので、ご協力よろしくお願いします。



(国) 346号 米川外舗装補修工事



登米市東和町米川地内外(令和2年2月完成)

■河川関係事業の成果

国土強靭化事業により、迫川、荒川、羽沢川、夏川の河川流下能力回復のため支障木伐採を行いました。今後も治水安全度を向上させるため、順次支障木伐採を行っていきますので、ご協力よろしくお願いします。







迫川支障木伐採業務委託(その2)

登米市米山町西野下小路地内(令和2年2月完成)

一級河川北上川水系長沼川「長沼川排水路付替工事」が一部完成しました。長沼川放水路の整備に支障となる排水路を付替えたことにより、今後は河川護岸等の河道整備工事に着手していきますので、ご協力よろしくお願いします。









登米市迫町佐沼字大網地内(令和2年1月完成)

南谷地遊水池は、追川が増水した際に下流狭窄部を浸水被害から守るために計画されており、南谷地流出樋門は遊水池に貯留した水を洪水後に排水するための施設です。設置から60年以上経過し老朽化が進行しているため扉体を更新し、安全性を高めました。



南谷地流出樋門門扉改良工事(その3)





登米市石越町東郷字大埣地内(令和元年9月完成)

荒川サイフォンは、長沼ダム導水路と交差する荒川を立体交差させるために荒川を地下に潜らせる施設で、幅6.0m×高さ5.0m×延長228.5mの函渠を6函配置した構造となっています。毎年1函の堆積土砂を撤去し、荒川の流下能力確保に努めています。



荒川サイフォン堆積土砂撤去工事





登米市迫町北方字壇ノ浦地内(令和元年12月完成)

みやざ県北高速幹線道路事業の進捗状況をお知らせします

みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ期佐沼工区)全体図





1 加賀野高架橋の下部工を作っています。



2 本線の盛土工事をしています。



追川を渡河する紫雲山大橋が完成しました。
おりましました。
おりましました。



4 新大瀬橋の下部工を作っています。



5 起点部の盛土工事をしています。

宮城県東部土木事務所登米地域事務所

〒987-0511

登米市迫町佐沼字西佐沼150-5

TEL: 0220-22-7533 FAX: 0220-22-7534

事務所ホームページ

http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmdbk/

事務所代表メールアドレス et-tmdbk@pref.miyagi.lg.ip



宮城県土木部